



県議会 とちぎ

〒320-8501 宇都宮市埴田 1-1-20 TEL 028-623-3772 FAX 028-623-3755
E-mail gikai-seisaku@pref.tochigi.lg.jp HP アドレス <https://www.pref.tochigi.lg.jp/kengikai/>
議案など各記事の詳細については県議会 HP をご確認ください。



△5月31日に開催された「宇都宮ブルックス優勝記念パレード」の出発式で挨拶する池田忠議長

第407回通常会議(令和7年5月28日～6月16日)

一般会計補正予算、栃木県県民の森条例の一部改正など20議案を可決

可決された主な議案と概要

●は知事提出議案です。●は議員提出議案です。

- 令和7年度栃木県一般会計補正予算(第1号)
高等学校等就学支援金制度において所得制限を受ける世帯の生徒を対象として支援金を支給するとともに、周産期・小児医療提供体制の確保に向けた医療機関への支援を行うこととしました。
- 令和7年度栃木県一般会計補正予算(第2号)
国が行う電気・ガス料金の支援に呼応し、LPガスを使用する一般家庭等や特別高圧で受電する中小企業者等への支援を行うこととしました。
- 指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部改正について
障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の一部改正により、障害福祉サービスとして就労選択支援が創設されること等に伴い、条例の一部を改正することとしました。
- 栃木県県民の森条例の一部改正について
栃木県県民の森のキャンプ施設の整備に伴い、当該施設の利用料金の基準額を改定すること等のため、条例の一部を改正することとしました。

請願・陳情

所管常任委員会の審査を経て、陳情2件が不採択となりました。

- 議員派遣について
 - ◎地方議会で更に女性が活躍しやすい環境整備につなげるとともに、大会参加を通じて女性議員間の一層の連携を深めることを目的とした女性議員研究交流大会に議員を派遣することとしました。
 - ◎とちぎの将来についての新たな発想や率直な意見などを高校生から直に聴取するとともに、県議会の役割等について理解を深め、関心を高めてもらうための意見交換を目的とした「～とちぎの未来を考える～栃木県議会県政ミーティング」に議員を派遣することとしました。



▲第407回通常会議(6月16日)採決の様子



とちまるくんのなるほど! 県議会

～議員提案による政策条例について～

議員提案による政策条例は、県民生活に関する政策課題への迅速な対応を図るため、議員が主体となって提案し制定する条例です。栃木県議会では、条例案策定に当たって、議員による検討会を設置し、学識経験者等からの意見聴取や執行機関との協議を行うほか、広く県民の意見を求めるためパブリック・コメントを実施しており、平成16年度から現在までに9つの政策条例を制定しています。今回は、第404回通常会議に提出され可決・成立した「栃木県民の歯及び口腔の健康づくり推進条例の一部を改正する条例」(令和7年1月1日施行)についてご紹介します。

栃木県民の歯及び口腔の健康づくり推進条例とは

歯や口腔の健康づくりを通じ、県民の皆さんの生涯にわたる健康の保持増進を図るため、議員提案による政策条例として第304回定例会に提出され可決・成立し、平成23年4月1日に施行されました。

基本理念

- ① 県民自らが歯及び口腔の健康づくりのために努力する
- ② 全ての県民がライフステージなどに応じた良質かつ適切な歯科保健医療サービスを受けられるような環境を整備するよう努める

条例改正の背景

県では、「栃木県民の歯及び口腔の健康づくり推進条例」の基本理念にのっとり、栃木県歯科保健基本計画の策定をはじめとして、県民の皆さんの歯と口腔の健康づくりに取り組んできました。

一方で、制定から13年以上が経過し、いわゆる「国民皆歯科健診」に向けた取組や災害発生時・感染症まん延時の歯科保健医療サービスの確保など、歯科保健を取り巻く環境には変化が生じています。

そのため、災害時や感染症まん延時における医療体制の確保や、オーラルフレイル等の新しい概念などを条例に位置付けることにより、県民の更なる健康の保持増進、健康寿命の延伸に寄与できるよう条例を改正することとしました。



▲第404回通常会議本会議において条例案の趣旨説明を行う山形修治議員



▲被災者の相談に応じる歯科医師

主な改正内容

- POINT 1** 国民皆歯科健診を見据え、実施主体となることが想定される保険者について、被保険者の歯科健診等を受ける機会の確保や歯と口腔の健康づくりの取組支援に努めることなどの役割を、条文に盛り込みました。



▲カモシカ先生

- POINT 2** 県は、県民のオーラルフレイルの予防や早期把握、回復のために必要な対策を講ずる旨を、条文に盛り込みました。

◎オーラルフレイル◎

食べこぼしやむせがある、かめない食べ物が增える、口の中が乾燥するなどの口腔機能の衰えであり、適切な対応により機能回復が可能な状態をいいます。



- POINT 3** 災害の発生時又は感染症のまん延時において、歯科保健医療サービスの提供を確保するため、平時及び災害の発生時等における措置を条文に盛り込みました。

今回の条例改正を含め、これまでの議員提案による政策条例は、右の二次元コードからご覧いただけます。



《第407回通常会議 本会議の主な質問項目及び内容》

代表質問 (5/30)

いわさき まこと
岩崎 信
(とちぎ自民党)
[芳賀郡]

○人口減少・少子化対策

問 人口減少・少子化対策については、これまでの取組の成果を検証し、次期プラン^{※1}に反映させるとともに、人口減少・少子化が進行しても、栃木県を維持していけるような適応策も併せて検討していくべきと考えますが、どのように取り組んでいくのか伺います。

答 【知事】次期プランについては、これまでの取組成果や課題を十分に検証した上で、栃木県人口未来会議^{※2}での意見も踏まえ、自然動態・社会動態双方から取り組むべき施策を盛り込む考えです。

また、人口減少局面に適応した地域づくりに向け、男女が共に輝ける社会づくりや多様な人材が活躍できる環境づくり、各種産業の生産性・付加価値の向上等の施策についても検討していきます。

○米農家への支援

問 米の価格が高騰する中、生産コストが上昇している米農家に、米の価格高騰分が所得として十分に還元されていないのではないかと思います。

米農家が意欲を持って営農を継続していけるよう支援していくことが重要と考えますが、どのように取り組んでいくのか伺います。

答 【農政部長】農家の営農意欲を高めるためには、収益性の高い米づくりを進め、農家の所得向上を図ることが重要です。低コスト生産技術などの導入を支援するとともに、多様な販路を確保するため、商談会への出展支援などにより契約取引の拡大を促進していきます。

今後とも、米農家が安心して営農を継続できるよう、関係団体等と連携して支援に取り組んでいきます。

このほか

スマート林業の推進、八溝縦貫道路の整備計画など

一般質問 (5/30)

わたなべ のりよし
渡邊 典喜
(民主市民)
[宇都宮市・上三川町]

○就職氷河期世代への支援

問 様々な業界での人手不足という課題への解決には、就職氷河期でキャリア形成に苦しんだ世代が持続的に働ける環境を作れる就労支援が必要と考えます。

10年後、就職氷河期世代の中には、国民年金等の受け手となり、低年金で生活できない方も出てくる懸念があるため、より一層の対応が急務であり、併せて、資産形成や住宅確保の支援等も課題になると考えますが、今後、どのように支援に取り組むのか伺います。

答 【知事】国の動きも注視しながら、相談、リスクリングから就職、定着までを切れ目なく支援するほか、栃木労働局などの関係機関と密接な連携を図り、新たな協議体制の整備も含め、必要な対策を検討し、積極的に支援していきます。

○持続可能な介護の在り方 ～訪問介護事業者への支援～

問 国に対し、訪問介護の基本報酬を地域の実情に応じて改定するよう要望するとともに、他にできることを全力で取り組むべきと考えますが、本県の在宅介護において、中小訪問介護事業所が果たしている役割をどのように評価し、人手不足の解消を含めた支援にどのように取り組む考えか伺います。

答 【保健福祉部長】高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるために、中小も含めた訪問介護事業所が果たしている役割は非常に重要と認識しています。

今後は、訪問介護員指導経費の助成や、経営改善のために専門家の支援を受ける際の費用の補助など、訪問介護事業所の一層の支援を図っていきます。

このほか

悪質リフォーム業者等への対策、フリースクールとの連携など

一般質問 (5/30)

しおだ ひとし
塩田 ひとし
(県民)
[足利市]

○人口減少・少子化問題の克服 に向けた次期プランの策定

問 次期プランの策定に当たっては、現プランの踏襲ではなく、人口減少・少子化問題の克服を、県民が一丸となって取り組む目標として掲げ、本県の強みをフル活用する視点で具体的取組を検討すべきと考えますが、どのように反映していくのか伺います。

答 【知事】合計特殊出生率の向上と転出超過の解消等を図る効果的な施策を次期プランに位置付け、全県一丸となって取り組んでいきます。

また、豊かな地域資源や力強い産業、東京圏への近隣性等、本県の強みを最大限生かし、中・長期的な展望に立ち、新たな視点や柔軟な発想を持って、全庁横断的に検討を進めていきます。

○民生委員の担い手の確保

問 介護、障害、貧困など多様な課題に加え、これらが複合化した課題を持つ個人や世帯が増加する中、負担感の増大などを背景に、民生委員の担い手不足が深刻となっており、足利市においても11名の欠員が生じ、更なる欠員が生じることが懸念されます。

民生委員の担い手の確保について伺います。

答 【保健福祉部長】今年度からは、新たに地域の実情や課題に応じて市町が実施する対策への財政支援を行うとともに、本年12月の一斉改選からは県の選任方針において、民生委員の年齢上限を廃止するなど、市町や関係機関と連携しながら民生委員の担い手確保に努めます。

このほか

市町が行うデジタル技術を活用した地域公共交通の支援、孤立可能性集落における災害対策など

一般質問 (6/3)

なかじま ひろし
中島 宏
(とちぎ自民党)
[宇都宮市・上三川町]

○不登校児童生徒への支援

問 国の調査によると、県内公立小中学校での不登校児童生徒数は過去最多を更新しています。

未然防止や初期対応に加え、不登校になった児童生徒への支援には、教育支援センターなど多様な学びの場や保健福祉部で支援しているこどもの居場所などの不登校支援関係者の相互理解や連携が必要と考えますが、今後どのように取り組むのか伺います。

答 【教育長】不登校の要因や背景は様々なことから、今年度新たに、医療や福祉等の関係機関も加え、専門性を生かした支援の在り方を検討する協議会を立ち上げる準備を進めており、不登校児童生徒や保護者への適切な働き掛けができる協力体制づくりを進めていきます。

○とちぎの稼ぐ力の発展のための成長戦略 ～財源確保のための戦略的な企業誘致～

問 米国の関税政策は不透明な状況にあり、県は、情報収集や県内企業への支援を行うとともに、中・長期的な視点で将来を見据えている企業を誘致し、財源確保につなげることも重要です。

企業に選ばれる産業団地の整備や知事のトップセールスも含め、戦略的な企業誘致に今後どのように取り組むのか伺います。

答 【知事】企業の投資動向を注視しつつ、将来を見据えた産業団地整備を進めていきます。

今年度は、半導体・蓄電池関連企業等を対象に昨年度実施したマーケティング調査の結果を踏まえた誘致施策に重点的に取り組み、多くの企業から選ばれるとちぎの実現に取り組めます。

このほか

均衡あるとちぎの発展～市町間格差の是正～、教育環境の充実など

一般質問 (6/3)

ゆざわ ひでゆき
湯澤 英之
(夢と希望)
[鹿沼市]

○フェーズフリー^{※3}な防災対策の推進

問 災害はいつ起こるか分からないため、日常からの備えは困難です。

そこで、災害を想定した備えを促進すると同時に、「いつの間にか備わっている社会」の実現を図るフェーズフリーの考え方を導入すべきと考えます。

県として、フェーズフリーな防災対策の推進に今後どのように取り組んでいくのか伺います。

答 【危機管理防災局長】フェーズフリーの考え方は、防災対策を進める上で有効な視点であると考えています。

県民一人ひとりにその考え方が浸透するよう普及啓発を行うとともに、県民にとってフェーズフリーの商品がより身近なものとなるよう、小売業などの協定締結企業と連携した取組についても検討していきます。

○VUCA^{※4}時代における児童生徒の学力向上

問 現代は、将来の予測が困難なVUCAの時代と言われ、将来の社会を見据えたとき、働く人に求められるスキルが変化していくことが見通されており、教育の果たす役割や思考力を含む児童生徒の学力向上の必要性が、ますます大きくなると考えます。

そこで、県教育委員会は、VUCA時代における児童生徒の学力向上に今後どのように取り組んでいくのか伺います。

答 【教育長】本県の児童生徒は、全国学力・学習状況調査において、全国平均と同程度の学力水準を維持しています。

更なる向上に向け、テスト結果や改善に向けた方向性が即座に確認できるCBT^{※5}を活用し、実態に応じてきめ細かな指導を行うことで、課題解決に粘り強く取り組む児童生徒を育成していきます。

このほか

物価高騰対策、外国人材の活用促進に向けた取組など

一般質問 (6/3)

ほし まさと
星 雅人
(とちぎ自民党)
[大田原市]

○NHK連続テレビ小説「風、薫る」の活用 ～地域振興における活用～

問 2026年度上半期のNHK連続テレビ小説が「風、薫る」という作品になることが発表され、主人公の一ノ瀬りんは、現在の大田原市黒羽出身である大関 和^{※6}さんをモチーフとした人物とされています。放送を契機とした地域振興施策や情報発信について、どのような取組や市町等との連携を想定しているか伺います。

答 【知事】大田原市や近隣市町、関係団体等の意向やニーズを丁寧に伺いながら、地域振興に資する取組への必要な支援を積極的に行っていく考えです。

また、ロケの誘致に取り組むとともに、拡散性の高いSNS等を活用し、戦略的な情報発信に努めていきます。

○県立文書館の活用

問 文書館は、古文書や公文書等を適切に収集・保存し、利用に供することで、県民の知る権利を保障するとともに、地域の歴史や県政の記録等を次世代に継承する役割を担っており、単なる資料保管庫ではなく、多面的な価値を持つ、社会にとって不可欠な知的基盤です。

県教育委員会は、県立文書館の活用を今後どのように進めていくのか伺います。

答 【教育長】県民のニーズに対応するため、受け入れた被災資料の展示を通して、保全活動の重要性の紹介や更なる活用につなげるとともに、月末の日曜日に試行的に開館し、平日の来館が難しい学校関係者や学生等の利便性を高めるほか、学校支援など教育分野での取組を一層推進していきます。

このほか

耕畜連携の推進、次世代の校務DXなど

用語解説

※1 次期プラン: 県政の基本指針である「とちぎ未来創造プラン」及び本県版「まち・ひと・しごと創生総合戦略」である「とちぎ創生15戦略(第2期)」の計画期間(～令和7年度)後の新たなプラン

※2 栃木県人口未来会議: 人口減少問題の克服に向けて、官民連携体制の強化を図り、施策の実効性を県全体で高めていくことを目的に令和7年4月に設置

※3 フェーズフリー: 平常時と災害時の境界をなくし、平時の生活を充実させることで災害時の生活も充実させるという考え方

※4 VUCA: 変動性、不確実性、複雑性、曖昧性を意味する4つの英単語の頭文字をとった造語

※5 CBT: Computer Based Testingの略で、コンピューターを使用した学力調査のこと。

※6 大関 和: 1858年に黒羽藩士の家に生まれ、桜井女学校附属看護婦養成所の第1期生として、専門教育を受けた。看護の仕事の地位向上と制度確立に尽力し、「明治のナイチンゲール」と称された。

注 () は所属党派／(とちぎ自民党)とちぎ自民党議員会、(民主市民)民主市民クラブ、(県民)県民クラブ、(夢と希望)夢と希望あふれる栃木を創る会、(共産党)日本共産党栃木県議団／会派名は質問日時点／[]は選挙区

《質疑・質問日 令和7年5月30日、6月3日、4日》

※スマートフォン等で二次元コードを読み取ると、質問の映像をご覧いただけます。

一般質問 (6/3)

ひらいけ ひろし

平池 紘士

(とちぎ自民党)

[栃木市]





○大阪・関西万博への出展

問 大阪・関西万博への出展の内定以降、県民への周知や機運醸成、いわゆる「盛り上がり」づくりについて、どのように取り組んできたのか、また、テーマ「いのち共創-MIRAI TOCHIGI」に込めた知事の想いと、未来の栃木県づくりへの展望について伺います。

答 【知事】テーマには、子どもたちが、ふるさと「とちぎ」の自然や文化等の魅力を再認識し、これらを更に次の世代に引き継いで、希望あふれる豊かな栃木の未来を創っていくという思いを込めております。機運醸成については、次世代連携プロジェクト※7の取組や、オリジナルソングの歌詞の募集などに取り組んできました。全ての県民に語り継がれる出展となるよう、準備に全力を尽くしていきます。

○官民一体となった特殊詐欺等対策

問 県警察と県内金融機関は、連携を強化し、被害の防止に努めていますが、現状では、窓口対応が中心であり、インターネットバンキングを利用した詐欺への対策が不十分という課題があります。

県民の財産を守るため、県警察として官民一体となった特殊詐欺等対策にどのように取り組んでいくのか伺います。
答 【警察本部長】県内金融機関との間で情報連携協定を締結しており、金融機関からは積極的な情報提供を受け、警察官が迅速に対応し、被害拡大防止に寄与しています。引き続き、関係機関・団体等と連携しながら、これまでの水際対策の推進や被害者の検挙と併せて、特殊詐欺等の撲滅に向けた取組を推進していきます。

このほか

県民広場等の有効活用、スマート農業・農業DXの推進など

一般質問 (6/4)

こすげ てつお

小菅 哲男

(とちぎ自民党)

[さくら市・塩谷郡]





○さくら市・塩谷町地区のスマートICの設置

問 さくら市・塩谷町地区のスマートIC設置想定地点からは、蒲須坂工業団地へのアクセスが良く、新たな産業団地への企業誘致や観光振興などの観点からも両市町への恩恵は大きいと考えますが、県は設置に向けて今後どのように取り組んでいくのか伺います。

答 【県土整備部長】高速道路が持つ多様な機能を最大限に活用するためには、スマートICの設置は非常に有効な手段として認識しています。さくら市・塩谷町地区のスマートICの設置については、これまで県として蓄積してきたノウハウを生かし、技術的な助言を行うなど、両市町の考えを伺いながら、実現に向けて支援していきます。

○今後を見据えた高齢者対策

問 25年後には県民の約4割が高齢者になると見込まれており、現在の医療、介護等に係るサービスの維持が困難になるのではないかと危惧しています。各種サービスの機能不全を起こさないよう、長期的に医療ニーズ、介護ニーズの拡大抑制に資する取組を進めるべきと考えますが、どのように取り組んでいくのか伺います。

答 【保健福祉部長】高齢者の自立支援や重度化防止を図るため、高齢者の介護予防の取組や社会参加の促進など、市町の取組を支援しているほか、支援ニーズのある方を地域で受け止めていく体制の構築を進めています。地域の実情に応じ、市町の課題に寄り添いながら地域包括ケアシステム※8の深化・推進に取り組んでいきます。

このほか

女性に選ばれる栃木県づくり、保育の質の向上など

一般質問 (6/4)

のむら こ

野村 せつ子

(共産党)

[宇都宮市・上三川町]





○物価高から家計を守る学校給食費無償化支援

問 長らく物価高騰から子育て世帯の家計を守り、安全でおいしい豊かな学校給食を子どもたちに食べさせるために、国の動きを待つのではなく、学校給食費無償化に関する知事公約の実現のための決断を今すべきと考えますが、見解を伺います。

答 【知事】全県的に学校給食費無償化を進めるためには、市町の意見を踏まえながら、仕組みづくりに向けた検討を進めることが重要と考えていることから、事務レベルでの会議等を通じ、情報共有や意見交換を行っています。国においては、令和8年度からの学校給食費無償化に向けて一定の方向性を示すとされていますので、その動向も注視しつつ、必要な検討を進め、同年度には、県が何らかの形で市町を応援していきます。

○戦後80年・被爆80年の節目に非核平和栃木県宣言を

問 戦後80年・被爆80年の節目に戦争の恐ろしさや被爆の実相を若い世代に伝え、戦争や核兵器のない世界へ願いを共有する独自の取組を行うことは有意義であり、県として非核平和栃木県宣言を行うべきと考えますが、見解を伺います。

答 【知事】本県では、既に第180回県議会定例会において「核兵器の全面撤廃と軍備縮小の推進に関する意見書」を全会一致で議決し、政府に対して、その実現と世論の喚起に努めるよう要望しています。引き続き、様々な機会を捉え、県民が核兵器の廃絶と世界の恒久平和への認識を深めるよう努め、次の世代に平和の大切さを伝えていきます。

このほか

PFAS※9の汚染から水と健康、地域を守るために、熱中症から子どもを守る県立学校体育館へのエアコン設置など

一般質問 (6/4)

すぎた ひかる

杉田 光

(とちぎ自民党)

[足利市]





○花でとちぎを盛り上げる施策の推進

問 2027年に神奈川県横浜市で開催される国際園芸博覧会(GREEN×EXPO 2027)を好機として県産花きの生産振興を図り、花の魅力を国内外に発信し、花でとちぎを盛り上げ、多くの観光客を本県に呼び込むことができるのではと考えますが、本県花きの生産振興や販売促進、魅力発信をどのように推進する考えか伺います。

答 【農政部長】県産花きの生産拡大に向けて、冷房装置やLEDなどを活用した技術の開発や現地実証を進めていきます。また、消費拡大を図るため、今年度、本県が当番県となる関東東海花の展覧会において、栃木らしさを表現する特別展示を行うなど、県産花きの魅力を広く発信していきます。

○企業版ふるさと納税の更なる推進

問 現在、県は次期プランの策定中であり、企業版ふるさと納税を駆使して、財源確保に力強く取り組んでいく必要があると考えますが、これまでの取組成果を踏まえ、企業版ふるさと納税の対象事業を拡大するなど、今後どのように取り組んでいくのか伺います。

答 【知事】昨年度から民間企業のネットワークや営業ノウハウを活用する業務委託を開始し、企業への働き掛けを強化するとともに、県庁内各部署が積極的に寄附獲得に努めており、着実に成果を上げつつあるものと考えています。次期プランの策定では、時代の潮流を的確に捉え、本県の強みを生かし、県民がふるさにと誇りを持てるよう、多様な意見を踏まえて取り組むべき施策を検討し、反映していきます。

このほか

県立高校における地元愛を醸成する探究学習、不登校の未然防止など

一般質問 (6/4)

あべ としかず

阿部 寿一

(とちぎ自民党)

[那須塩原市・那須町]





○米国関税措置が本県経済に与える影響と対策

問 日本からアメリカに対しては、自動車をはじめ機械や電気機器、農林水産物や食品など、様々な製品等が輸出されています。米国関税措置が本県経済に与える影響をどのように捉え、どのような対策を講じていくのか所見を伺います。
答 【知事】米国関税措置により、ものづくり企業等が多く立地する本県経済への多大な影響が懸念されます。県は、特別相談窓口を設置したほか、ホームページ上に特設ページを設けるなど情報発信に努めるとともに、関係機関等による情報共有を図っています。関税措置の動向等を注視しながら、関係機関とも連携し、迅速かつ機動的に必要な対策を実施していきます。

○県内小中学校教職員の多忙感解消

問 県内小中学校で多忙感を抱く教職員の割合は95.6%に上っており、これまでの取組が多忙感の解消につながっていないと考えます。国に対し抜本的な対策を講じるよう粘り強く要望するとともに、県も更なる対策を講じるべきと考えますが所見を伺います。

答 【教育長】学校の仕事に興味のある方への入職を支援する事業の展開や、非常勤講師の配置拡充を行うなど、業務負担の軽減に取り組んでまいりました。今年度は、学校外の業務に住民や保護者等の地域人材を活用するなどのモデル校における取組を、県内に広く展開して働き方改革を一層推進していくほか、人材確保についても国へ強く要望していきます。

このほか

2025年問題・2040年問題を踏まえた介護人材の確保、県版空き家バンクの実効性ある取組など

いま
栃木県議会の「NOW」は
こちらでチェック!!



栃木県議会【公式】X



県議会の日程や質疑・質問の中継案内など県議会の情報をタイムリーにお届けします。
とちまるくんも活躍中!フォローして議会の最新情報をチェック!!

#栃木県議会



県議会中継



本会議(質疑・質問)や予算特別委員会(総括質疑)は、とちぎテレビ、栃木放送(ラジオ)、議会インターネット中継サイトで生中継しています。(映像は手話通訳付き)



※7 次世代連携プロジェクト:県内の小中高生等が本県の魅力を研究し、オンラインで万博来場者に紹介する取組

※8 地域包括ケアシステム:地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていく、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるシステム

※9 PFAS:1万種以上あるとされている有機フッ素化合物の総称で、その中の一部の物質について発がん性

が指摘されている。

常任委員会の主な活動

6つの委員会が設置され、それぞれ所管する部局等に関する議案・請願等の審査や事務の調査等を行っています。

第407回通常会議において所管常任委員会に付託された議案(令和7年度一般会計補正予算(第1号・第2号)関係議案等)について、6月6日と16日に審査及び採決が行われました。また、6月から8月にかけて県内調査を行いました。

●県政経営委員会

付託議案:職員の育児休業等に関する条例等の一部改正について等 6件
報告事項:大阪・関西万博への出展概要について等 6件
6月19日には、栃木北東地区消防指令センターや一般社団法人nasu lab.の取組を調査するため、現地視察を実施しました。

▲一般社団法人nasu lab.の説明を受ける委員

●生活保健福祉委員会

付託議案:指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部改正について等 2件
報告事項:栃木県子ども総合科学館ネーミングライツパートナーの決定等について等 2件
6月20日には、佐野厚生総合病院やとちぎスポーツ医科学センターの取組を調査するため、現地視察を実施しました。

▲佐野厚生総合病院の説明を受ける委員

●農林環境委員会

付託議案:栃木県県民の森条例の一部改正について等 3件
報告事項:第21回食育推進全国大会inとちぎの大会テーマ等について等 10件
6月24日には、清原スマートエネルギーセンターやJA全農とちぎ青果物広域集出荷センターの取組を調査するため、現地視察を実施しました。

▲清原スマートエネルギーセンターを視察する委員

●経済企業委員会

付託議案:令和7年度栃木県一般会計補正予算(第2号)中所管関係予算
報告事項:令和6(2024)年度栃木県企業局決算の概要について等 4件
委員からは、県が設置した米国の相互関税等に関する特別相談窓口における対応等について意見が出されるなどしました。


●県土整備委員会

付託議案:市町村が負担する金額について等 6件
報告事項:「とちぎの道 開通宣言2025」、「とちぎの河川・砂防関係施設 完了宣言2025」について
7月と8月に、県内市町村からの道路や河川の整備要望箇所の状況を把握するため、各市町との意見交換や現地視察を実施しました。

▲市町と意見交換を行う委員

●文教警察委員会

付託議案:令和7年度栃木県一般会計補正予算(第1号)中所管関係予算
報告事項:特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺対策について等 3件
委員からは、防犯アプリを活用した広報の推進等について意見が出されるなどしました。


次期プラン検討会

○4月24日

パブリック・コメント等の意見を踏まえて修正された次期プラン第1次素案について執行部から報告を受けたほか、今年度の活動計画を決定しました。

○6月9日

次期プランの施策体系等について執行部から説明を受け、質疑や意見交換を行ったほか、次期プランに関する全議員アンケート調査の実施を決定しました。

▲次期プラン検討会(6月9日)の様子

U-18 高校生世代のギモン?

もっとなるほど! 県議会

あなたがもっと知りたい県議会や議員のことなどについて、議長や副議長がお答えするコーナーです。


池田忠議長

Q

少子化対策には子育て支援だけではなく結婚支援も大事だと思うのですが、現在栃木県で行われている結婚支援にはどんなものがありますか。(18歳・宇都宮市)

A

県では、若者が結婚などのライフイベントについて主体的に捉えられるよう、講座の実施などを通じ、若者の自己実現支援に取り組んでいます。
また、とちぎ結婚支援センターにおいて、結婚相談員によるきめ細かな支援を行うとともに、会員制マッチングサービスや出会いイベントを実施するなど、結婚の希望をかなえるための支援にも取り組んでいます。

高校生世代※からの質問を募集します!

※栃木県にお住まい又は通学している
おおむね16歳から18歳までの方
応募方法など詳細は下の二次元コードからご確認ください。
たくさんの質問をお待ちしています!



県議会トピックス

○関東甲信越1都9県議会議長会

5月7日と8日に、関東甲信越1都9県議会議長会が宇都宮市において開催され、池田忠議長と琴寄昌男副議長が出席しました。
会議では、池田議長の進行により各都県から提出された10件の議案について審議・採決が行われ、本県が提出した「有機フッ素化合物(PFAS)対策の推進について」の議案を琴寄副議長が説明しました。

▲議事を進める池田議長

▲本県提出議案を説明する琴寄副議長

○県民の日記念イベント

県民の日記念イベントが6月15日に県庁で開催されました。
県議会議事堂ではオープニングセレモニー及びステージイベントが行われ、来場者は、県警察音楽隊による演奏、とちキャラクターズステージなどの催しを楽しんでいました。

▲オープニングセレモニーの様子

○2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)

6月27日から29日まで、大阪・関西万博に栃木県ブースが出展され、オープニングセレモニーに池田忠議長と琴寄昌男副議長が出席しました。
ブースでは、自然と人間の営みの共生を表す「山水共里」をコンセプトにした展示などを通して、本県の豊かな自然や優れた歴史・文化等の魅力をPRしました。

▲オープニングセレモニーの様子(左4人目から順に福田富一知事、池田議長、琴寄副議長)

○～とちぎの未来を考える～栃木県議会県政ミーティング@鹿沼東高等学校

とちぎの未来を担う子どもたちに県議会に対する関心を高め、理解を深めてもらう主権者教育の一環となるよう、県政ミーティングを県立鹿沼東高等学校において実施しました。
当日の詳細は、今後お伝えします。

▲当日(7月14日)の様子

県議会からのお知らせ

県議会議員のことをもっと知りたいあなたへ

～県議会議員を紹介する電子誌面を更新しました!～
とちぎの未来のために日々活動している県議会議員について、もっと知ってみませんか?県ホームページで公開しています。

↑電子誌面はこちら

議会広報番組「県議会ハイライト」

とちぎテレビでは、質疑・質問の様子など、県議会活動の内容をダイジェストで紹介する広報番組を放送しています。
放送予定
8月3日(日)17時30分～18時
12月7日(日)17時30分～18時
2月1日(日)17時30分～18時


次回通常会議の日程

9月18日(木) 本会議(開議、議案上程)、次期プラン検討会
22日(月)、25日(木)、26日(金)
本会議(質疑・質問)
30日(火) 常任委員会
10月6日(月) 予算特別委員会(総括質疑)
7日(火) 常任委員会
9日(木) 本会議(採決、散会)

※午前10時開始予定。日程は変更となる場合があります。
詳細は、県ホームページでご覧いただけます。
※傍聴については、本会議は先着順、委員会は開会15分前までに受付を行い、定員を超えた場合は抽選となります。
※4月から電子申請によるオンライン傍聴受付を開始しました。ぜひ、ご活用ください。


↑申請方法等はこちら